可児市 ⑱ 桜ケ丘地区 洪水・土砂災害ハザードマップ

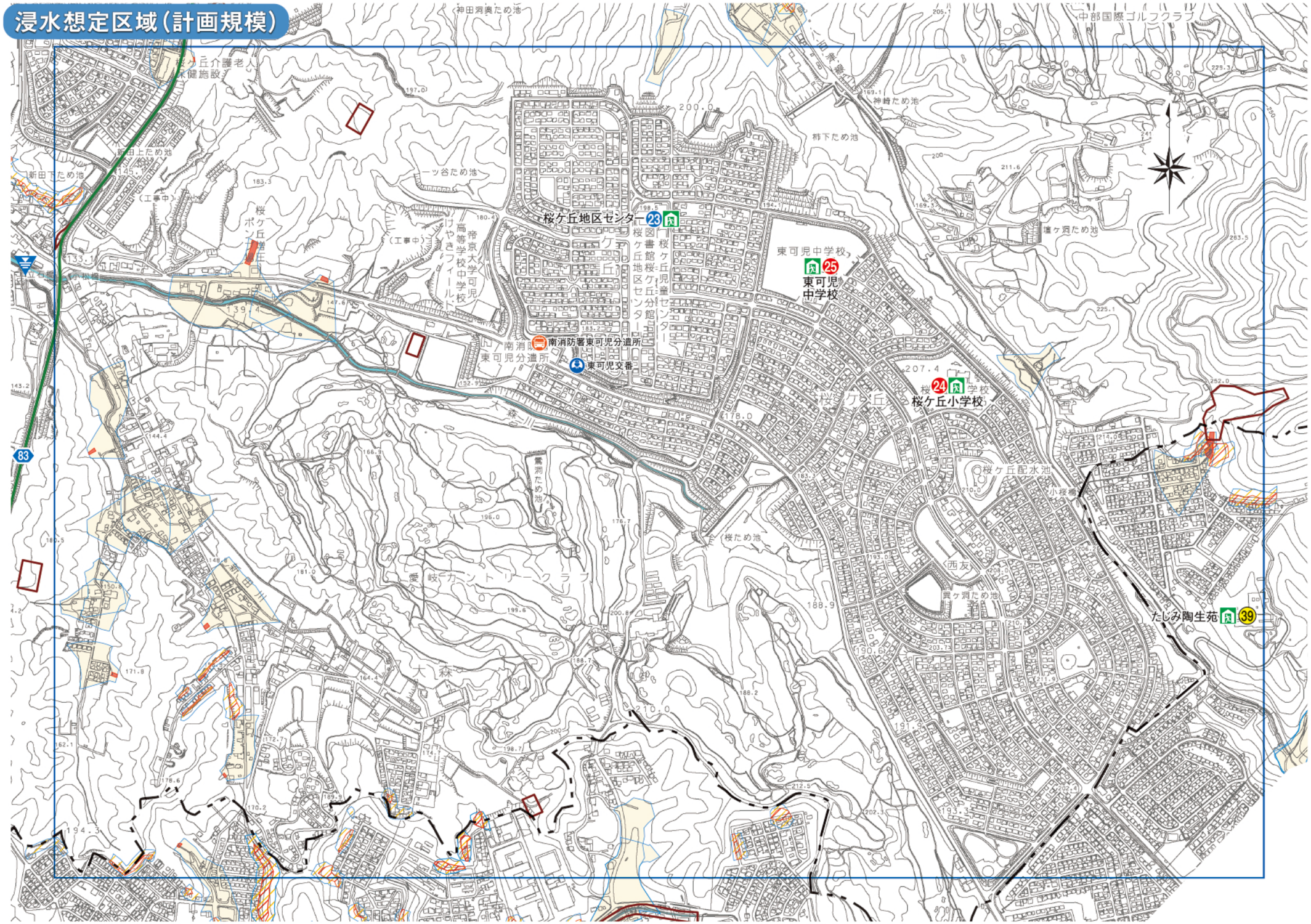
マップで自宅周辺の災害の危険性を確認しましょう。

- 浸水区域（色がついている）か、浸水区域なら何色で浸水深（地面からの水位）はどれくらいで、何階以上にいれば大丈夫か。
- 土砂災害（特別）警戒区域か。

ハザードマップの説明

浸水想定区域（計画規模）は、木曽川水系木曽川の水位周知区間について計画規模の降雨（2日間総雨量311㎜）による洪水浸水想定区域と浸水深を、木曽川水系可児川の水位周知区間について計画規模の降雨（6時間総雨量205㎜）による洪水浸水想定区域と浸水深を、木曽川水系矢戸川・横市川・久々利川・姫川・大森川・中郷川・瀬田川について概ね30年に1回程度起こる計画降雨による洪水浸水区域と浸水深を表示したものです。

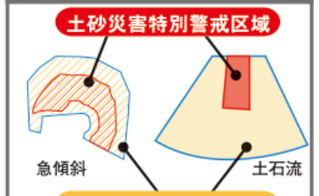
浸水想定区域（計画規模）



位置図



土砂災害（特別）警戒区域

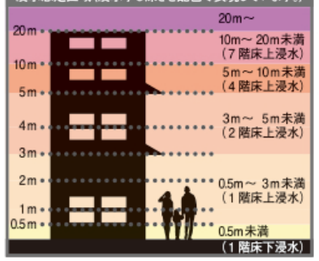


土砂災害により建物が壊れたり、命に危険を及ぼすおそれがあります。早い段階で区域の外に避難しましょう。
特に、赤の土砂災害特別区域はより危険性が高いところです。

凡　例（土砂災害関係）

- 砂防指定地
- 急傾斜地崩壊危険区域

浸水想定区域（浸水する深さを配色で表現しています。）



凡　例（施設関係）

- 指定避難所
- 広域避難場所
- 警察署
- 市役所
- 消防署
- ヘリポート
- 医療機関
- アンダーパス
- 水位観測所
- ライブカメラ
- 水位観測所（危機管理型）
- 避難方向の目安（災害の状況に応じて判断してください）

凡　例（一般）

- 行政界
- 高速道路
- 国道
- 主要地方道
- JR太多線
- 名鉄広見線
- 河川

1：10,000

0　100　500m

可児市都市計画基本図1:10,000（令和7年3月）を使用 可児市外の背景地図は国土地理院基盤地図情報を使用「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 8JHs 180」

令和8年9月